

総合科学技術会議 評価専門調査会
「イネゲノム機能解析研究」
評価検討会（第2回）議事概要

日 時：平成21年2月27日（金）10：57～12：30

場 所：中央合同庁舎4号館 共用第4特別会議室（4階）

出席者：廣橋座長、飯島座長代理、奥村委員、小林委員、大塚委員、河野委員、
生源寺委員、田中委員、中村委員

事務局：天野参事官

説明者：農林水産省農林水産技術会議事務局研究開発官(食の安全、基礎・基盤)早川研究開発官、門脇研究調整官、山本研究専門職、菅野研究専門官

- 議 事：1. 開 会
2. 評価検討会の検討の進め方について
3. 研究開発内容の追加説明と質疑応答
4. 討 議
5. 閉 会

(配布資料)

- 資料1 「イネゲノム機能解析研究」農林水産省への追加説明要望事項
資料2 「イネゲノム機能解析研究」追加説明事項（農林水産省）
資料3 総合科学技術会議が事前評価を実施した研究開発の予算の措置状況
資料4 「イネゲノム機能解析研究」の事後評価における調査検討事項と農林水産省の説明状況及び委員からの質問等の対応状況

(参考資料)

- 参考1 「イネゲノム機能解析研究」の調査検討の進め方（平成21年2月17日 第1回評価検討会資料）
参考2 総合科学技術会議 評価専門調査会 名簿

議事概要：

1. 研究開発内容の追加説明と質疑応答
追加説明要望事項に関する説明について

農林水産省から追加説明要望事項に基づいて、資料2に基づいて、予算と目標等、事前評価での指摘事項・留意事項の対処方策等、成果、及び、成果の施策等への活用について説明があった。

質疑応答

目標が当初計画を上回って達成した要因について質問があり、農林水産省からQTL遺伝子の解析の進展や研究支援体制による研究の加速との回答があった。

GMOに関する国民理解増進活動について規模が問われ、農林水産省から頻度等の説明があった。

●知財の取得方針などについて

知的財産権の状況についての質問への回答[資料2]2①について、出願・取得状況とその戦略についての質問の意図であったことから、農林水産省から別途提出するとの回答があった。

●海外の状況把握について

中国の動向についての質問に対して、農林水産省からは、注視する必要があると認識しており、個別的な情報収集は行っているが、組織的な情報収集体制の構築については検討する必要があるとの回答であった。

3. 討 議

農林水産省からの説明、および質疑応答を受けて、以下の観点より討議が行われた。

- 個別課題と当初の上位目的との間の連携について
- 知財等の戦略について
- マネジメント体制について
- GMO理解増進活動の取組みについて

また、参考1に基づいて論点が討議され、研究開発の当初の目標が達成しているか、研究開発の成果の活用により見込まれた効果などが得られたか、研究開発マネジメントが妥当であったかなどが論点とされることとなった。